

優しく強い子に！



http://www.minamih.net/
19・9・1(日)
南NEWS no 60

秋季リーグ B クラス

9月1日(日) 緑が丘小

○めあて：チャレンジ&カバー/守備の三角形/コーチング

○南八王子1-3 四小 OSC 前半0-0

得点：カツヤ君

GK コウタ君、CB アサキ君、SB カイリ君・ハルト君、CMF カツヤ君、SMF マックス君、マサムネ君、FW サモン君でスタート。

前半は早いアプローチで相手の攻撃を防ぎます。アサキ君のFKはGK正面。反撃は単発でなかなかシュートまでいけないまま0-0。

後半2分、中央のチェックがあまくなった瞬間に強烈なロングシュートを打たれて先制されます。同13分、カウンターからサモン君が抜け出し、相手に引っかけたボールをフォローしたカツヤ君が持ち込みゴール、同点に。



しかし同14分、左サイドをドリブルで突破され、ミドルシュートを決められ勝ち越されます。同15分、アディショナルタイムに再び左サイドからミドル、GK コウタ君が一度は止めたもののこぼれを押し込まれてしまいました。

○南八王子0-2 ASC とうよう 前半0-0)

GK ハヤト君、CB アサキ君、SB カイリ君・マサムネ君、CMF コウタ君、SMF ヒロト君・カツヤ君、FW サモン君でスタート。中央の相手選手にチェックを激しくすることを意識して試合に臨みました。

コウタ君がしっかり早めのアプローチで相手のボールを奪います。トップ・サモン君が前線よく競い、ハーフの選手がフォローして連続して攻撃ができました。ヒロト君が鋭いドリブル突破を見せ2本の惜しいシュート。シンヤ君も左サイド奥深くへ持ち込み、チャンスを作りました。押し込む展開でしたが、0-0で後半へ。

後半5分、カツヤ君が相手を抜いてGKと一対一になりますがシュートはポスト右。同6分、相手が繰り返していたGKのロングパントキックにヘディングの処理が自陣に飛ぶクリアミス。それを拾われ先制されてしまいます。直後の同7分に気落ちしてチェックが甘くなり真ん中を破られ失点。その後も相手陣地にボールを運びますが、突破しきれずに試合終了となりました。

★選手一人ひとりについて

○アサキ君…CBとして相手トップをマークしながら良いポジショニングで相手の攻撃を防ぎました。中盤でカットしたボールを二人三人とドリブルでかわして前に運び惜しいスルーパスもありました。もっと遠くが見えるようになるとさらにいいプレーができるでしょう。

○カイリ君…対人守備の強さを見せました。戦術理解度が高い選手ですが、いつもよりオーバーラップが見られなかったのが残念です。カイリ君の突破とシュート力は南の大きな武器ですから、次戦に期待します。

○マサムネ君…激しくボールを奪う持ち味を見せました。一人目は突破できるようになったので、次はスペースを運ぶことをめあてにしましょう。つるべのポジショニングも忘れずに。

○ハルト君…ボールを持ったときにすぐに奪われずにキープできるようになってきました。コーチングの声も良く出せています。つるべを忘れがちですが、体がきついときも頭はクールに！

○マックス君…走り回って、激しい守備で味方を助けてました。奪った後に相手にぶつけない技術を身につけましょう。ドリブルとターンの力をつければサッカーがもっと楽し

くなります。まわりを観ることも意識しましょう。

○カツヤ君…リーダーシップを発揮する姿がこのところ目立ち頼もしい選手に成長しています。ポジションを意識しすぎたのか、今日は味方を追い越して飛び出すプレーが少なかったのですが、得点を挙げた場面のようにサモン君とのコンビは今後に期待です。

○サモン君…試合を重ねるにつれて、役割を理解し、プレーに強さが出てきました。戦術理解度が高く、コーチングの声も聞こえてきます。前線でがんばったときは味方がフォローして連続攻撃の起点になっています。相手6番との一対一は見応えがありました。奪われた後、奪い返す切り替えをもっと早くしましょう。

○コウタ君…GKとして相手の強烈なシュートを何度も防ぎました。ポジショニングに危ないところがありますが、これまでとひと味違うプレーでした。CMFとしても、相手のボールを奪う力、前に運ぶ力を見ることができました。集中しているコウタ君は本当に頼りになる選手だとあらためて思いました。

○ハヤト君…GKのプレーが安心して見ていられます。フィールドプレーヤーとしてもアプローチが早く味方を助けてました。

○シンヤ君…プレーもコーチングも力強く、逆サイドの選手を観る意識も高くすばらしいプレー。ゴール前での決定的チャンスに回転がかかったボールが予想と違う跳ね方をしたのは残念でした。何度もドリブル突破でゴールに迫りました。

○ヒロト君…GKとして攻撃につながるパントキックが光りました。フィールドでも、相手ボールを奪った後の早いドリブル、マッシュで相手ゴールに迫り惜しい場面を何度も作る大活躍でした。



★試合を振り返って：4年生だけで先発メンバーを初めて組めた試合でした。青梅招待で大量失点した反省から、第一DFが早いアプローチをすること、それぞれがマークする選手と守備の三角形を作ること、逆サイドのフリーの選手を見ておくことを確認して試合に臨みました。ほとんどの局面で第一DFが決まっていた、すぐにボールをアタックできてました。第二DFのカーもできてました。

試合目の四小OSCは、昨年11月のTOMAS3年生大会で0-6と負け相手です。ロングシュートを打たせてしまったのが残念でした。

2試合目のASCとうようはアローレ八王子のジュニアチームで、個人技で長けた選手の突破から前の試合で曹尾を破っていましたが、南はさらに集中して数的優位を作りボールを奪うことができました。押し込んでチャンスも作っていたが惜まれる試合でした。

一方で、ボールしか見れなくなる陣形取れている場面、そしてそれを選手たちで修正できない場面目立ちました。また、奪ったボールを前に運ぶと再度奪い返されたのも課題です。4年生も後半を迎えたのでヘディングでのクリアも練習していきましょう。つるべや守備の三角形の理解度が選手によってかなり差がありますが、選手たちの反省はコウタ君のGAMBAノートに見事まとめられていたので、次の試合はさらにいい内容になることを期待します。

by中村玩コーチ

